

## お問い合わせ先

藤井寺市教育委員会事務局 教育部文化財保護課  
 電話 072-939-1111（代）  
 （内線 6022）  
 直通 072-939-1419  
 受付時間 9時から17時30分  
 定休日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）  
 担当 和田・新開

表 題	土師の里遺跡調査における <sup>かくはいがた と きしゆつど</sup> 角杯形土器出土の報告と特別展示の開催について
内 容	<p>令和7年の春頃におこないました土師の里遺跡の発掘調査で、土師質<sup>はじしつ</sup>の角杯形土器が出土しました。これは古市古墳群では初、全国でも6例目の事例となり、また<sup>きょうはん と き</sup>共伴土器の年代観から5世紀初頭の製作と考えられ、国内最古級とみられる発見となりましたのでご発表いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>角杯形土器とは、ユーラシア大陸において北方の騎馬民族の文化圏で使用されていた角杯を模した容器です。</li> <li>調査地は世界遺産の構成資産である三ツ塚古墳<sup>みつづかこふん</sup>より南へ約100mの地点に位置しています。調査地周辺は、古墳時代に埴輪の生産や巨大古墳の築造を担ったとされる土木技術集団の土師氏の<sup>ほんかんち</sup>本貫地と考えられている遺跡です。</li> <li>角杯形土器は調査区南側の直径約2mの土坑より、それらの時代に該当する様々な土器と共に廃棄されているような状況で出土しました。</li> </ul> <p>角杯形土器をはじめとした藤井寺市の歴史を物語る様々な出土遺物の特別展示を大阪府藤井寺市アイセルシュラホールにて行います。</p> <p>日時：12月13日（土）～27日（土）9時～17時30分（月曜休館日）    場所：大阪府藤井寺市藤井寺 3-1-20 アイセルシュラホール2階 特設展示場    展示内容：「角杯とその周辺（土師の里遺跡）」、「<sup>こういせき</sup>国府遺跡～縄文墓地・<sup>かわちこくふ</sup>河内国府の探求～」    「北岡遺跡～中世の信仰と暮らし～」</p> <p>また、特別展に関連したトークイベントも行います。</p> <p>※12月12日（金）に14時より報道陣向けのプレ発表を行います。ご参加いただける方は文化財保護課受付（大阪府藤井寺市藤井寺 3-1-20 アイセルシュラホール 2階）までお越しください。</p> <p>藤井寺市 HP：<a href="https://www.city.fujiidera.lg.jp/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazaihogo/bunkazainoibento/20517.html">https://www.city.fujiidera.lg.jp/soshiki/kyoikuiinkai/bunkazaihogo/bunkazainoibento/20517.html</a></p> <p>※詳細については添付資料をご覧ください。</p> <p>また、ご不明点等ございましたら、上記、問い合わせ先までご連絡ください。</p>



## 土師の里遺跡出土の角杯形土器について

### 1. 角杯形土器の概要

ユーラシア大陸において北方の騎馬民族文化圏で使用されていた角杯を模した容器。角杯は、ウシ科の動物の角を利用して製作された飲用器で、盟約を結ぶ儀礼の際などに用いられたと考えられる。

### 2. 調査の概要

今回の調査地は、三ツ塚古墳のうちの八島塚古墳から南へ約 100m 下ったところに位置している。

調査面積は約 354 m<sup>2</sup>で、調査区内の北側からは竪穴建物跡と思われる遺構を 2 棟検出した。調査区

全体では柱穴と思われるピットが多数検出しており、古墳時代から古代の掘立柱建物が数棟建てられていたことが考えられる。

調査地北側の隣接地では、過去の大阪府教育委員会による調査で 10 棟の竪穴建物が確認されており、周辺の調査でも多くの建物跡が見つまっていることから、一連の集落遺構だと思われる。

### 3. 角杯の出土状況（写真 1）

調査区南側の直径約 2m の土坑より出土し、ほぼ完形に復元できた。土坑内からは中央部に密集する形で円筒埴輪や形象埴輪、須恵器、土師器が出土し、割合としては土師器、埴輪が大半で、須恵器は数点だけである。

### 4. 出土した角杯の概要（図 1、写真 2・3）

口縁部の一部欠損しているがほぼ完形の状態で、口径 8.2cm、器高 15.9cm、底径 4.5cm を測る。底部は平たく成形されている。口縁部直下に線刻による鋸歯文を施すが、完周はせず、線も細く粗い。胴部には把手を付けたと思われる剥離痕が認められる。

### 5. 角杯形土器出土の類例

角杯形土器は、日本国内で 26 点の出土例がある。そのうち今回の調査区と同じ土師質の角杯が 5 点、須恵質の角杯が 19 点、朝鮮半島系の陶質の角杯が 1 点、木製の角杯が 1 点、これまでに出土している。

全国的に分布しているが、特に近畿・中部地方に多く見られる。須恵質のものが多く、時期としては主に 5 世紀後半から 6 世紀で、須恵質は 6 世紀に属する例が多い。

## 6.土師の里遺跡出土の角杯の意義（図4）

今回の調査で出土した土師質の角杯については、<sup>きょうはんいぶつ</sup>共伴遺物からみて5世紀初頭のものと思われる。

国内における土師質の角杯形土器の出土例は少数であり、鳥取県<sup>あおやかみじち</sup>青谷上寺地遺跡の弥生時代に属する木製の角杯形容器が最古ではあるが、今調査区出土の角杯も出土例の中では最古級にあたる事例であると思われる。また、文様や把手を付加する等といった特徴は他の出土例とは差異があり、独自性が伺えます。



写真1 調査区 土坑出土状況

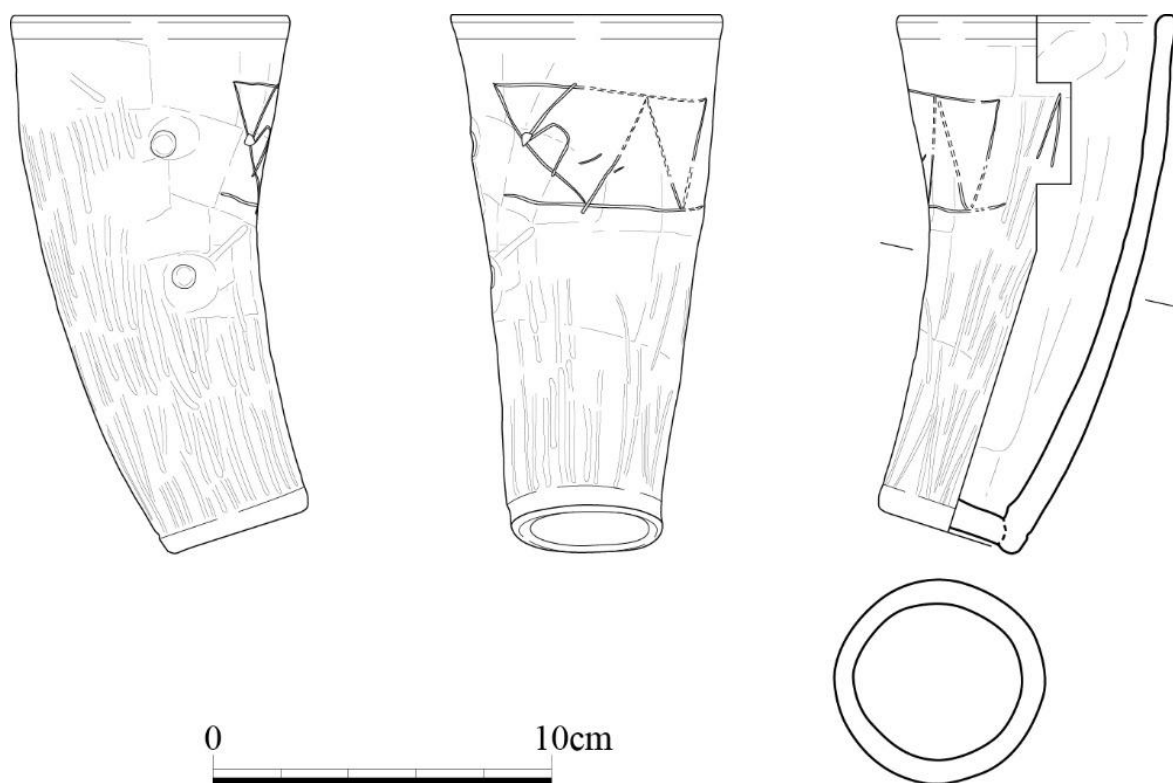


図1 角杯形土器 実測図



写真2 角杯形土器（横から）



写真3 角杯形土器（前から）

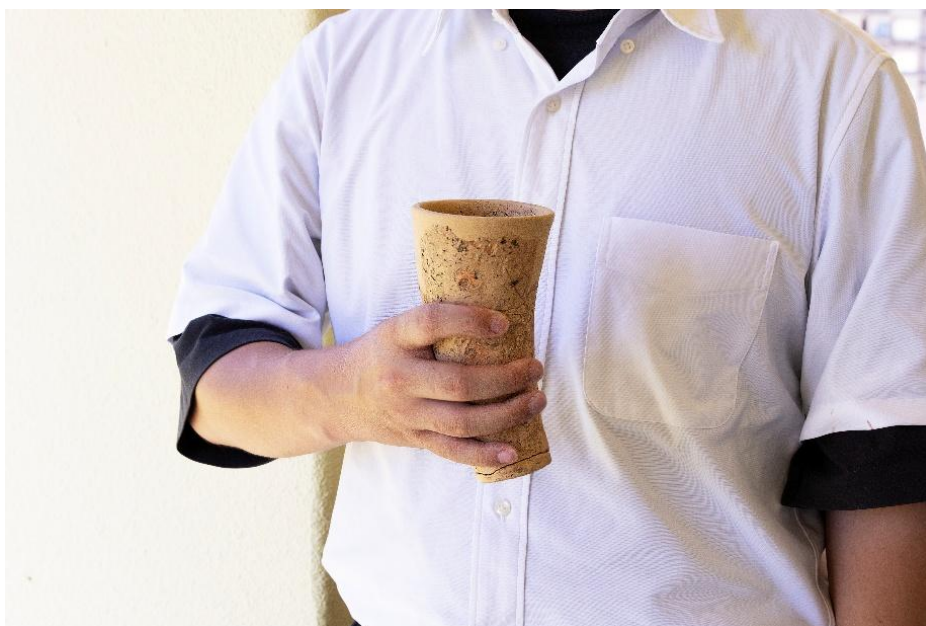


写真4 角杯形土器の使用想定図

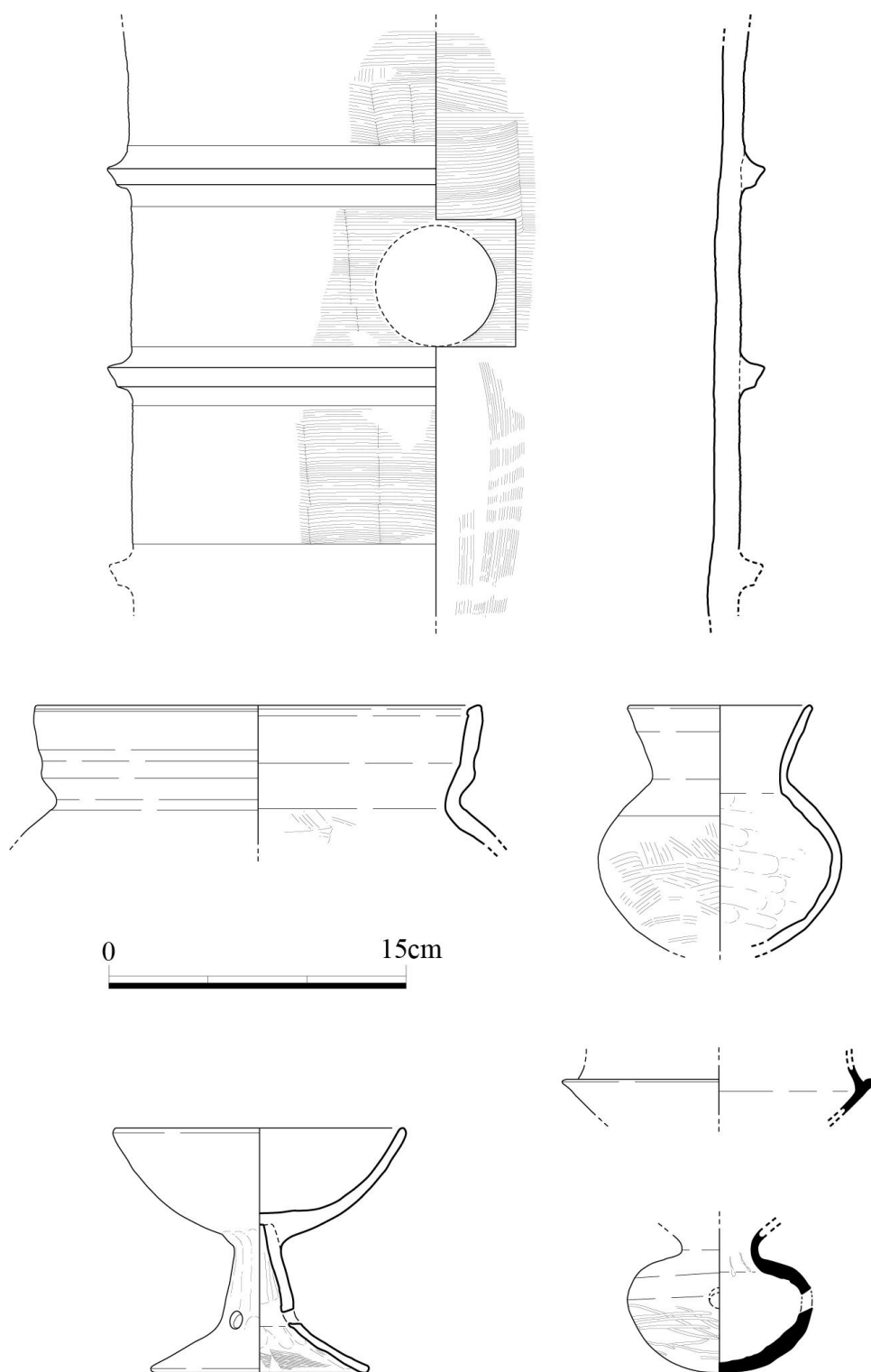


图2 共伴土器 实测图

## 文化財特別展 ～ふじいでらの昔をのぞいてみよう～

発掘調査で新たに見つかった角杯形土器をはじめ、藤井寺市の歴史を物語る様々な出土遺物を展示します。

**日時：**12月13日（土）～27日（土）9時～17時30分（月曜休館日）

**場所：**大阪府藤井寺市藤井寺 3-1-20 アイセルシュラホール 2階 特設展示場

**展示内容：**「角杯とその周辺（土師の里遺跡）」

「国府遺跡～縄文墓地・河内国府の探求～」

「北岡遺跡～中世の信仰と暮らし～」

**展示解説：**展示を見ながら解説を行います。

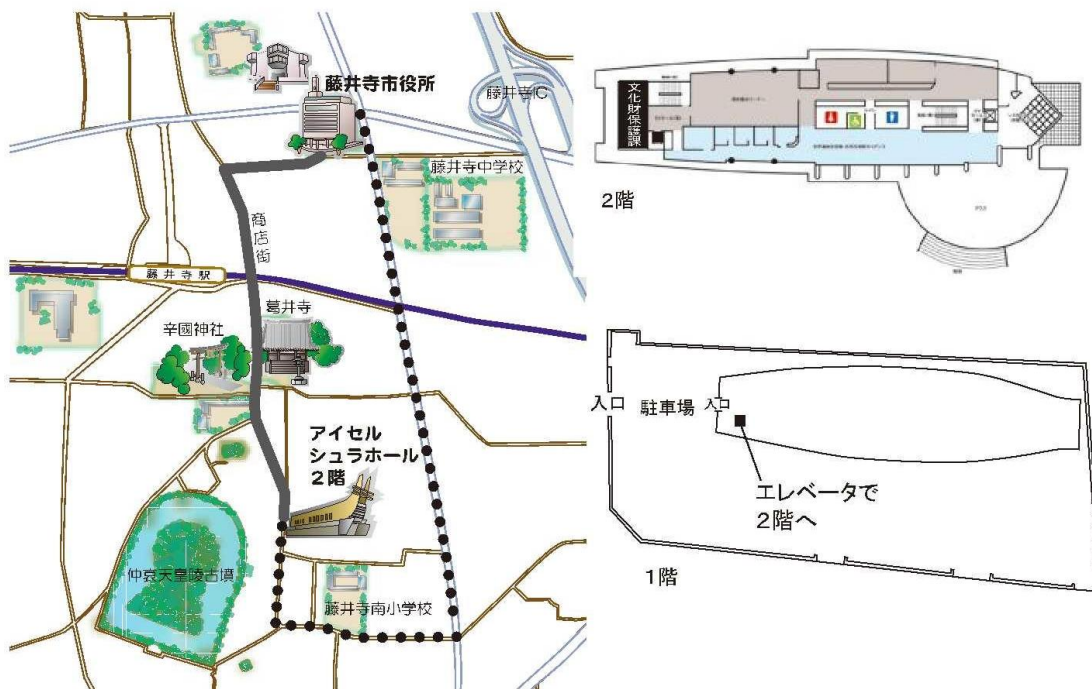
12月13日・20日・27日（すべて土曜日）

10時・14時・16時（各3回） ※予約不要

**特別展記念トーク「藤井寺市の遺跡を語る」**

日時：12月20日（土） 13時～14時

場所：アイセルシュラホール 1階ロビー（申し込み不要）



市役所からアイセル シュラホールへの行き方

- 自動車（10分）
- 徒歩（18分）・自転車

近鉄南大阪線「藤井寺」駅下車南へ徒歩8分

開館時間 9時から17時30分まで

休館日 月曜日

月曜日が祝日にあたる場合は翌日

年末年始

お問合せ  
〒583-0024  
藤井寺市藤井寺3-1-20  
藤井寺市教育委員会事務局教育部  
文化財保護課  
TEL 072 (939) 1419